

7/4 thu. 広島文化学園 HBG ホール

マカロニえんぴつ

バンドの揺るぎない実力と
勢いを見せた、濃密な2時間

ドラマ・CMなどへの楽曲提供や大型音楽フェスへの出演が続くなど、その存在感を發揮しているマカロニえんぴつ。18回目を迎える今回のツアー

ー【マカロニえんぴつ vol.18 ～わたし、しばらく家を出ます！ don't call マザー☆鈍行27本ツアー～】も、23都市27公演の全国ホールツアーと大規模なものに。終盤に訪れた広島公演をレポートする。

まだ暗いステージでは、整えられたバンドセットの上に半円状のアーチが静かに赤く光る。客席を見れば、バンドらしさを象徴するカラフルでポップなツアーTシャツやツアータオルを身につけて開演を待つファンが。全公演チケットソールドアウトなだけあり、ここ広島も満員の客入りだ。彼らのライブではおなじみのSE、The Beatlesの

『Hey Bulldog』が流れ始めると、メンバー4人とサポートメンバーがステージへ。はっとり (Vo/Gt) がギターを準備してから両手を掲げて「広島ー！」と声を上げると、会場は盛大な歓声に包まれた。

ライブの口火を切ったのは『スタンド・バイ・ミー』。フロアを爆音で満たすとともに、ステージ後方に映し出されたカラフルな映像が楽曲の世界観を演出し、始まりにふさわしい高揚感が生まれる。「俺らは今日、すべてをさらけ出す覚悟でここにきています。みんなも同じ覚悟できてくれる？」とはっきりが客席へ問いかけると、ファンは全身で応えて一段と熱量が上がると。手をたたき、体を揺らしながら自由に楽しむオーディエンスの姿が印象的だった『恋のマジカルミステリー』では、ハッピーな空気感が広がっていく。そんな様子に「ライブハウス時代から、広島はすごくノックしてくれる印象があります。今日は古い曲も新しい曲もたくさんやるから、もっと楽しんでね！」とメンバーも笑顔。

ここからは、マカロニえんぴつの楽曲といえばイメージする人も多いだろうラブソングが続いていく。『リンジュー・ラヴ』や『恋人ごっこ』でオーディエンスの心を揺さぶった後は、伸びやかで力強いボーカルに合わせてファンも歌詞を噛みしめるように聴いていた『たしかなことは』、重なっていくコーラスと情感たっぷりのサウンドで届けた『春の嵐』などで、さらに心をつかんでいく。

MCでは、メンバー紹介とともに、阪神ファンであるはったりと田辺由明 (Gt/Cho) がライブ前日にマツダスタジアムで観戦したというカーブvs阪神戦の話題も。その流れで唐突に飛び出した「好きな野球用語は？」とのはったりからの質問に、戸惑いながらも田辺「スプリットフィンガーファストボール」、高野賢也 (Ba/Cho)「ランナースタート」、長谷川大喜 (Key/Cho)「カーブ」、サポートの高浦“suzzy” 充孝 (Dr)「ホームベース」とひとりずつ答えていく。その姿に満足げな表情を浮かべるはったり。自身は「犠牲フライ」が好きだと明かしつつ、阪神がホームラン2本を放つという決定的瞬間を両方とも見逃したという残念話で会場を沸かせる。「でも、いっか！ 今ライブがこんなに楽しいから！」と“ロックスターパワー”を会場全体に注入しながら、ライブは後半戦へ。

夜の都会のビル群を映し出した映像を背景に、ジャジーなムードを漂わせた『クールな女』、はったりの「一緒に歌って踊れますか？」との呼びかけに、客席も手を上げノリノリで楽しんだ『ネクタリン』。オーディエンスの大合唱が響き渡った『レモンパイ』、最新EP『ぼくらの涙なら空に埋めよう』から『忘レナ唄』、『月へ行こう』を熱演。表情豊かな楽曲のバリエーションを通して、次々とバンドの底力を見せていく。

ラストへ向けて、ますます熱量が高まる会場に放たれたのはライブ定番曲。メンバー4人もステージ上を動いてオーディエンスを煽ると、ファンも飛び跳ねフロアが揺れ、圧巻の盛り上がりを見せた『ワンドリンク別』。『なんでもないよ、』のサビでは、はったりがマイクから離れてファン全員で大合唱する。その一体感に、はったりも「素晴らしい！」と大きな笑顔を見せる。今のマカロニえんぴつの勢いを示すかのように、一曲一曲をたっぷりと楽しめる濃密な2時間。大きな拍手や歓声が響き渡る中、「大好きです、また会いましょう」の言葉とともにステージを降りるメンバー。その充実した表情、そしてオーディエンスの表情を見れば、その思いは十分に伝わってきた。😊



SET LIST

01. スタンド・バイ・ミー
02. 遠心
03. 恋のマジカルミステリー
04. たましの居場所
05. 愛のレンタル
06. リンジュー・ラヴ
07. 恋人ごっこ
08. たしかなことは
09. 二人ぼっちの夜
10. 春の嵐
11. クールな女
12. TREND
13. ノンシュガー
14. ネクタリン
15. レモンパイ
16. 忘レナ唄
17. 月へ行こう
18. 悲しみはバスに乗って
19. 洗濯機と君とラヂオ
20. ワンドリンク別
21. ハートロッカー
22. ヤングアダルト
23. なんでもないよ、